

がんばれー!!

ーコロナ禍の徳島駅伝ー

(詳細は20ページに記載しています)



特集 議員14名の感想

2P

4 年間を振り返って

オアシスあいあい橋

4P

撤去・架け替え設計に**2千万円**

10P

一般質問に**10**人



議会の
詳しい情報が
閲覧できます。

振り返って

各議員に70字で4年間の議員活動を振り返ってもらいました。



小川 勉 議員

山積みのまま残された課題。町民への町と議会からの説明不足。町民と町政・議会との感覚の乖離。多くの町民の町政への無関心さを感じた4年間でした。



吉井 武 議員

「孫の時代に向けて地域を守る」これを遂げるべく、安全・安心で住みよいまちづくりを目標に農業振興や防災対策を提言し、全力で取り組んできました。



井添 伸一 議員

住民の声を聴き町政に届ける、その信念でこの4年間を歩いてきました。まだまだ未熟で至りません。2022年は変革の年、更なる飛躍に繋がりたいです。



三好 正治 議員

誰もが「安全で安心して生活がいを持って、心ゆたかに生活できる町」を構築するため、4年間地域福祉の推進に取り組んできました。



川原 進 議員

議会と云う会場は、年功序列であるが、改革して人口の半数以上の婦人に活躍又若い人が民主主義の原点に人生は100年時代であることも忘れるべきでない。



川原 勝市 議員

当り前のことが当り前であるよう、町民の皆さんの立場に立って行財政運営の監視と要望等に添うことができるよう、議員活動に努めた4年間でした。



南 雅彦 議員

少子高齢化・子育て支援・住民サービス・新型コロナ支援・庁舎統合に取り組んできました。

特集

4年間を



坂本 健二 議員

庁舎統合・オアシスの方向性等問題の残る4年間でしたが、住民の声を聞き間違いの無い判断を行政に提案していきたいと思えます。

横関 道恵 議員

皆様の声を真摯に受け止め町政に届け、「安心・安全で暮らしやすい」町づくりに福祉向上や堤防建設推進に全力で取り組んで参りました。



坂本 正一 議員

少子高齢化、人口減少が確実に進んでいくことを念頭に努力してまいりました。今後も住民の皆様と共にどのような施策が大事かを模索していかなければと思えます。



槇山 幸一 議員

合併16年目、町民皆様の融和もできています。堤防工事も進み、安全安心な町づくりも進んでいます。人口減少対策、農業の振興に取り組んでできました。



長谷川 吉正 議員

この4年間は、オアシスの経営検証から始まり、再建に向かう途中で新型コロナにより、さらに経営が悪化することになった。再建の道はまだ見えない。



安藤 孝明 議員

新しい町長のもと出航した議会ですが、新型コロナにより色々な行事が中止となり、皆さんとの交流が少なく町民の声を行政に届ける機会が減少し非常に残念に思った4年間でした。



中川 祐司 議員

将来のまちを見据えた庁舎統合に奔走し、三好庁舎・中央公民館の有効活用を模索してきましたが、新型コロナの影響で結果を出せなかった4年間でした。



12月定例会は、12月7日から12月17日までの11日間の会期で開催しました。この定例会では、令和3年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例改正、人事案件などを審議し、いずれも原案の通り可決しました。一般質問には10人の議員が登壇して、公園の老朽化した遊具やオアシスの運営などについて活発な質問を展開し、町の考えをたいただきました。

オアシスのあいあい橋

除却・架け替え工事設計費に 2000万円

利用者の利便性や安全性を最優先に



撤去架け替え工事の設計予算がついたあいあい橋

委員

なぜ急に、橋の除却・架け替え工事の設計費を予算計上したのか。

産業課長

「あいあい橋」は、平成

12年の3月10日、吉野川ハイウェイオアシス開業に伴い供用開始され、近隣自治会の生活道路として、また、吉野川ハイウェイオアシス利用者が県立箸蔵自然公園美濃田の淵へ散策する時や、美濃田の淵キャンプ場利用者が吉野川ハイウェイオアシスの「美濃田の湯」や食事をする時に往来する通路として利用されてきた。橋の主な部材は木製で松の集成材であったこともあり、長年の経年劣化により強度が著しく低下

し、通行するには安全性に問題があるとの検査結果により、令和元年6月3日から通行止め措置をしてきた。

架け替えについては、一旦予算計上(7千万円)したが、平成30年の地域拠点整備事業対策特別委員会で審議され、高額な予算であり他のルートの活用や低予算での事業実施の検討を示されたため、保留としていた。

しかし、地元住民の生活道としてのニーズが高いことと、吉野川ハイウェイオアシスと美濃田の淵キャンプ場・公園施設を一体として考えて連携させることが、町にとつて必要不可欠なものであると判断し相乗効果を求め予算を計上した。予算の執行に関しては、できるだけ安価の施工費になるよう心掛けることもに地域住民、観光客を中心とした利用者の利便性や安全性を最優先し、早期に除却と架け替えを行いたい。

補正 12月定例会に提案された各会計の補正予算は次の通りです。

会計名	補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計(第7、8、9、10号)	5億227万3千円	89億9537万8千円	全員賛成で可決
特別会計			
国民健康保険事業(第2号)	3802万3千円	15億4775万5千円	全員賛成で可決
公共下水道事業(第1号)	13万3千円	2億4713万円	賛成12、反対1で可決
浄化槽事業(第2号)	26万3千円	1億1813万6千円	全員賛成で可決

子育て世帯臨時特別給付金事業

18歳未満に10万円を現金給付

委員

なぜ、10万円を全額給付するようになったのか。

福祉課長

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策において0歳〜高校3年生の子どもたちに1人当たり10万円相当の給付を行うことになり、子ども1人当たり5万円の現金給付については迅速に支給することが決定されたため、早急に予算確保するため事務費補助金287万3千円を含めた1億172万3千円を※専決処分（12月2日付執

行）した。この予算は100%国庫補助金を活用する。

また、専決処分した現金給付5万円を年内支給するため準備を進めていたが、国において10万円の現金給付及び一括給付は、自治体の対応も可能であることが示された。これを受け、10万円の現金給付が可能になるよう残りの5万円分／1億85万円を計上した。

対象者は約2千人余りを予定。0歳から中学3年生の722世帯・1308人は、児童手当を受給していることから、町でも把握ができており年内支給を12月23日に振り



昼間幼稚園の元気な園児たち

人事案件

教育委員会委員



あきた まさひろ
秋田 正弘氏
(昼間・新任)

前任者の退任に伴い、教育委員会委員に秋田正弘氏(60歳)を推薦しました。任期は4年間です。

込む予定である。高校1年〜3年生・令和4年3月31日までに誕生した子ども・世帯主が公務員に関しては、所得960万円以上の世帯を除く児童に支払われる予定となっている。児童手当を受給していない世帯・公務員・令和3年10月以降の新生児は把握ができておらず、申請書を12月24日以降に送付して申請を受け付け・審査後に支払いを順次していく予定となっている。申請受付締め切りは、令和4年3月31日までとなっており、支払いは、

1月下旬からの開始を予定している。

※専決処分は、本来は議会が議決しなければならぬ案件を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に町長が議会の議決に代わり意思決定することです。次の議会でも、議会への報告と承認が必要です。

12月定例会における議案審議の賛否状況について

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。

議案番号	議席番号	氏名													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議58	令和3年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※○=賛成、×=反対 ※議案の名称は短縮してあります ※通常採決の場合10番榎山議長は採決に加わりません。

陳情

陳情の名称	代表者	審査結果	採決の結果
東みよし町発注公共工事における現場打ちコンクリート構造物の適用を求める陳情	徳島県西部生コンクリート協同組合 理事長 川原 隆	採 択	全員賛成

※採択された陳情は、関係機関に意見書として提出します。

東みよし町議会では、総務厚生、教育産業建設の2常任委員会を設置しています。本議会で付託された議案などを12月9日、10日に開催された各常任委員会で活発に審議しました。その主な内容を報告します。

教育 産業建設

加

茂農村公園に遊具を新設
子どもたちの安全確保を最優先に

委員 旧遊具の撤去と新設遊具の今後の設置予定は。

産業課長

加茂農村公園の遊具

が行われているので、準備を進めている。代替え遊具についても、子どもたちに安全で親しまれる遊具の設置を目指して、1千万円の予算で準備に取り組みたい。

は、設置から長期間経過し、遊具部材の木材部分等が経年劣化により腐食が進んだ状態である。令和3年6月に公園施設製品安全管理士の点検で3基の遊具から危険性の高い異常が発見され使用禁止の措置を行っている。撤去については、すでに予算措置



撤去される大型遊具

総務 厚生

加茂庁舎の空調設備管理
15年間の維持管理を契約

委員 なぜ、※債務負担行為とするのか。

総務課長

三加茂庁舎の空調設備は、平成7年の庁舎建設以後、適宜修繕等の維持管理を行いつつながら使用してきたが、25年が経過し故障時に必要な部品の生産中止や経年劣化により十分な修繕ができないなど、設備の更新が必要となっている。

設備更新については、長期間、安定的に設備が使用でき、設備費や修繕費、管理に係る人件費などのコスト面でも、長期契約によるサービス方式を導入する

ことが有利であるため、期間を令和3年度から令和18年度まで、限度額を2億7千万円として債務負担行為としたい。従来の自前買い取り方式から、事業者への長期契約によるサービス方式へと変更になる。

老朽化した空調設備を更新、維持管理するにあたっては、長期契約を活用することが、効率的な施工と管理が実現できるものと考えている。



空調設備

※債務負担行為：予算は単一年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せずに後の年度においても「負担＝支出」をしなければならない場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。今回、空調設備の更新工事や維持管理の契約を締結する場合に、1年度目***万円、2年度目***万円として、全体の期間と負担額を確定させ、15年間の負担を約束するものです。町でも債務負債負担行為を利用するケースが増えていますが、将来の支出を伴うものであるため、財政運営上、適正な運用が求められます。

オ

アシスの公園施設の整備

代替遊具の設置と撤去等に5700万円

委員 遊具の撤去等の整備
内容は。

産業課長

オアシスの公園の遊具については、平成12年3月の吉野川オアシス開業に伴い供用開始され、地域の子どもたちや住民等に親しまれている。しかし、設置してから20年以上を経過したことから、経年劣化による危険性と内部等の強度不足が想定され、令和3年6月に



撤去される遊具

公園施設製品安全管理士が点検を行った。結果、3基の遊具から危険性の高い異常が発見されたため、使用禁止の措置を講じている。撤去工事と代替遊具の設置は高額になるため、過疎対策事業債の活用を協議してきた。今後、撤去工事を速やかに進めると共に代替遊具の新設工事を行うため、撤去費に600万円、3基の遊具の新設工事に5100万円を予定している。

奨

学資金の償還免除条例制定

若者の定住促進と活性化を図るため



奨学金 (イメージ図)

委員

今回の条例制定はどのようなものなのか。

学校教育課長

今回の「東みよし町定住促進のための奨学資金の償還免除条例」は、学校を卒業後、東みよし町に住居登録して1年以上継続して居住し、生計を営む等の条件を満たした者の奨学金の償還を免除するものである。このことにより、町における定住を促進し、町の活性化を図るための条例で、要件を満たし毎年申請すると10年で償還残額の全額が免除されることになる。

また、「東みよし町奨学資金貸付基金条例」の一部を改正することについては、奨学資金貸付制度を利用しやすいように改正した。今回、他の奨学資金との併用を認め、貸与金額を増額し選択できるようにし、償還期間も金額に応じて10年、15年、20年とした。また、新たに入学準備費用の貸し付けを設けた。

債

業務負担行為を減額

1億円を6千万円に

委員 なぜ、4千万円の減額となったのか。

総務課長

令和2年5月26日の臨時会において、吉野川オアシス(株)への1億円の出資と事業資金借入に対する損失補償に係る債務負担行為の限度額「1億円」を議決していた。その後、3金融機関からの借入金で6千万円となったため、債

業務負担行為の限度額も4千万円減額し、「6千万円」に変更する。期間は「令和3年度から11年度」となる。



オアシス

小

中学校にコロナ対策用品

学校教育活動継続支援事業

委員 小中学校にどのようなかコロナ対策用品を購入するのか。

学校教育課長

町内の小学校に、新型コロナウイルス感染症対策として消毒用アルコールや非接触式機器(サーマルカメラ)等を



サーマルカメラ設置例

購入する。購入費215万9千円。中学校にも同じく消毒用アルコールやサーマルカメラ等を購入する。購入費108万円。サーマルカメラは各小学校・中学校用として6台購入(1台約20万円)し、玄関等に置いて体温測定やアルコール消毒ができるようにしたい。その他、各校に必要なものとして、パーティションと空気清浄機なども購入する。

総務
厚生

二

加茂財産区管理会条例の制定 財産区の適正な運営のため

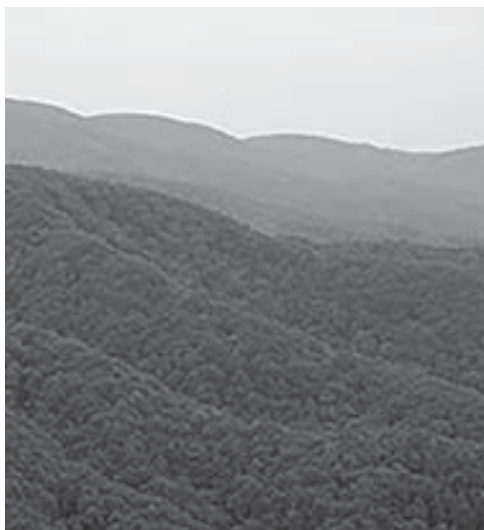
委員 なぜ、新たに条例を制定するのか。

ついて議論されてきたが、急激に変化する社会情勢の中にあつて、木材価格の低迷など財産価値の低下や、住民の財産区に対する意識の希薄化が見られ、今後の財産区の管理・運営の在り方が課題となつていた。

総務課長

旧三加茂町には、山林を所有する加茂財産区と三庄財産区があつたが、平成12年に両財産区が廃止され、町の普通財産となつていた。しかし、平成18年の合併時に三加茂財産区として設置され現在に至っている。その後、議会などでも今後の在り方や運営方法などに

今回、新たに条例を制定し、財産区管理会を設置して財産区に対する見識を有する7人の委員を選任し、運営や課題の克服に臨んでいただくことになった。



三加茂財産区

総務
厚生

3 回目のコロナワクチン接種 接種事業に4154万9千円



ワクチン接種（イメージ写真）

委員

3回目のワクチン接種対象者はどのくらいいるのか。

健康づくり課長

3回目の新型コロナウイルスワクチン接種に向け準備を進めていたが、国の方針が明らかになったことから、遅滞なく接種を進めていくための体制を確保するために予算を計上した。現在までにワクチン（1・2回）を接種した方は、集団接種数は約6500人、それ以外の接種をした方は約4500人いる。

3回目のワクチン接種対象者は、2回目を接種した8か月後の接種者が対象となり、接種の時期に応じて対象者にアンケート調査を行い、接種希望者には、日時の指定を行った接種券を送付する。

医療従事者向けに令和4年1月半ばから開始し、2月上旬から、高齢者等から接種を開始予定としている。集団接種は、約22回を予定している。この事業は、国庫負担金及び補助金を充てている。対象人数は、約1万2千人。

議会放送を見るには

東みよし町の議会放送は、テレビ徳島に加入しているお宅のテレビでご覧いただけます。デジタル放送の場合は、※122チャンネルで、アナログテレビの場合は地上デジタル放送用のチューナーを接続していただければご覧いただけます。

議会放送は、年4回開催される開会日と閉会日の本議場の様子を生放送と録画での再放送を行っています。議員の一般質問や町の財政、方針がどのように決められていくのかを是非ご覧ください。

ご覧ください。

操作方法

- ※①リモコンで12チャンネルを押す
- ※②選局ボタンの「**▲**」を押す。

注）メーカーによって操作方法が違つるので、ご注意ください。



- ①12チャンネルボタンを押す
- ②選局ボタンを押す

10/27

堤防建設促進要望活動

吉野川堤防建設促進特別委員会

吉 野川堤防建設促進特別委員会では毎年委員全員（7名）で要望活動を行っています。今年も新型コロナウイルスの影響で参加人数が制約され、松浦町長、横山議長、小浦建設課長、委員会からは中川委員長・横関副委員長が代表で要望してまいりました。

10月27日、吉野川堤防建設促進特別委員会（水管理・国土保全局）及び本県選出の衆参両院の国会議員を訪問し、建設が進んでいる加茂第二堤防工事の建設促進や無堤地区の早期解消などについて要望してまいりました。

また、11月17日から18日にかけて、国土交通省（水管理・国土保全局）及び本県選出の衆参両院の国会議員を訪問し、建設が進んでいる加茂第二堤防工事の建設促進や無堤地区の早期解消などについて要望してまいりました。



中山国土交通副大臣へ要望する一行

また、11月17日から18日にかけて、国土交通省（水管理・国土保全局）及び本県選出の衆参両院の国会議員を訪問し、建設が進んでいる加茂第二堤防工事の建設促進や無堤地区の早期解消などについて要望してまいりました。

12/23

宮岡箇所地区の河川改修説明会

12月23日、24日、三好庁舎2階会議室において、午後7時から国土交通省四国地方整備局徳島河川事務所主催による吉野川宮岡箇所地区河川改修に関する説明会が開催されました。両日とも河川事務所からは5名、県の担当者1名、建設課から2名、議会からは中川吉野川堤防建設促進特別委員会委員長と足代地区選出の三好委員の2名が出席しました。

23日は周辺地権者の方23名が出席し、



挨拶をする北川副所長

24日は12名が出席しました。会議の冒頭に北川副所長から、3月19日に開催する予定だった住民説明会が急遽中止となったことについての陳謝と、松本工務第一課長から平成16年10月に台風23号が襲来し、甚大な浸水被害を発生させた洪水と同規模の洪水に対し、吉野川の氾濫による浸水被害を防止する計画案が発表されました。その中で、新たに作成した堤防図面が示されました。三三大橋北詰から下流に約700メートルにかけ、徳島自動車道に沿って堤防を建設する計画です。台風23号で記録した流量約1万3千トン（宮岡箇所）規模の洪水による浸水被害を防止すること、概ね20年間に実施する吉野川河川整備の計画内容の一部だということです。

参 加者の中から、建設中の加茂第二箇所の完成後、台風23号規

模の洪水が発生したときには、対岸の宮岡箇所への水の当たりが一段と強くなるのではないかと。計画の堤防の高さで持つのか・などの建設的な意見が出されました。北川



宮岡箇所堤防建設案

副所長から、今回示した計画はあくまでも案なので、住民の皆さんの意見を参考にしながら詳細な図面を作成する旨の発言がありました。1年後には完成した図面をもとに説明会を開催したいとのことでした。

10 議員

20項目の質問を行い、町の考えをたどりました。

まちの考えを問う

一般質問

町長選挙への再出馬は

町長 ▼志半ばなので再挑戦する



あんだう 安藤 たかあき 孝明議員

安藤

松浦町長は2018年4月に初当選され、目指す政策として「町の活力の増進・子どもたちの未来を守る安心・安全のまちづくり・町民の声が届きやすい町に」を掲げ、この町に生まれ育ってよかった、これからも住み

続けたいと実感できる東みよし町を目指すとして取り組んでこられた。この間、子育てでは保育所、幼稚園の3歳以上の給食費の無料化、また幼稚園教育が1年から3年間へ選択できるようにする認定こども園への移行を進めている。

また、高齢者対策では、高齢者タクシーの利用助成事業、さらに企業誘致では、東部福祉センター横にウエス製造を行う企業誘致



松浦町長

町長は、この1期4年間をどのように捉えているのか。また、令和4年4月5日告示、10日投票の町長選挙について聞く。

を進めている。

町長は、この1期4年間をどのように捉えているのか。また、令和4年4月5日告示、10日投票の町長選挙について聞く。

町長

この4年振り返ると、目標に達していない部分が多々ある。まだまだ志半ばということだ。今後については、第2次総合戦略の「ちようどええ、ほなけん住んどる・この町にずっと住み続けたい」というまちづくりを目指して挑戦したいと考えている。

今、危険されている新型コロナウイルス第6波の対策についての考えは。

安藤

危険されている新型コロナウイルス第6波の対策についての考えは。

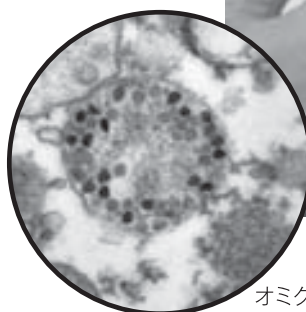
町長

今、危険されている

第6波、またオミクロン株が増えている。第3回目の接種を前倒して12月に医療従事者や施設の方に、順次ワクチン接種に取り組んでいるところだ。一般の方については、2月以降になるかと思う。高齢者の方よりワクチン接種ができるような体制づくりに取り組んでいる。



3回目のワクチン接種は



オミクロン株

足代地区に企業誘致を

産業課長 ▼ 企業誘致活動を推し進める



まさはる 正 議員
みよし 三好

三好

町内で企業を誘致ができる広大な土地があり、足代に住宅が無い場所は、足代の総合運動公園グラウンドとその周辺及び宮岡の高台だけではないかと思つ。

この地域は、四国の中央部に位置し、吉野川スマートインターから片道一車線の広い町道が通っており交通アクセスの良さや素晴らしい生活環境等々があるので、この地域に企業を誘致し、地域

の過疎化の歯止めと町の活性化を図るべきと思うが。

産業課長

徳島県や銀行から、

企業が1畝から3畝の広大な土地で交通アクセスの良い工業用地を探していたとの情報を聞くが、本町には工業団地が無いため残念ながら企業誘致に至っていない。

総合運動公園グラウンドの約1.1畝と、西側の約3.7畝及び、宮岡地区の高台の約1.3畝については、企業誘致の適地とされている。今後、企業誘致活動を推し進めていきたいと考えている。

企業誘致した会社の造成工事



住民の移動手段の構築を

企画課長 ▶ 公共交通体系を見直す

三好

本町の多くの地域は公共交通

空白地域であり、その解消に向けて地域公共交通事業等を行っている。効率的な運行、費用対効果や利便性を考えて、町営バスは三好分庁舎及び吉野川ハイウェイオアシスへの乗り入れなどの考えは、また、スクールバスの混乗と空き時間を活用してデマンドバス等に利用するなど、住民の移動手段の構築に向けてどの様に取り組んでいるのか。

企画課長

本年5月に、東みよし町地域

公共交通活性化協議会を発足しており、公共交通体系の再編について検討を始めている。これまでは、企画課、福祉課、学校教育課の各担当部署において移動手段の構築をしてきたが、今後はこれらの部署を含めて、地域公共交通活性化協議会において官民一体となる見直しを行う。



町営バス

改正避難情報の周知を

総務課長 ▼ 広報紙等で周知普及啓発に努める



よしい たけし 武議員
吉井

吉井

令和3年
5月20日に災

害対策基本法が改正され、避難情報の一部が見直された。避難勧告は避難指示に一本化され、従来の避難勧告のタイミングで避難指示を発令することになった。この改正避難情報の周知はどのように考えているのか。

周知を行ってきた。今後も、平時から普及啓発に努め、実際の避難行動に結びつくよう伝達方法、内容について研究していきたい。

総務課長

新たな避難情報の内容は、ポスター掲示又チラシの配布等で

「避難勧告」は廃止し、「避難指示」に一本化



災害基本法の改正



防災グッズ

改正避難情報に基づく避難行動は

総務課長 ▶ 防災知識の普及と防災体制の充実を



避難指示 (イメージ図)

吉井

今後、懸念している気象変動による大規模災害が発生した場合に、今回の改正避難情報では避難勧告のタイミングで避難指示が出される、その場合に多くの方の避難が想定されると思う避難所の受け入れ体制等行動マニュアルの作成や災害時の民間との連携協定はしているのか。

避難所としての使用や民間施設の協力など避難所の確保に努めていく。民間との連携協定は、協力体制の構築を進めているところだ。

総務課長

多くの方の避難が想定される場合は、避難所以外の公共施設の安全が確認できれば

多くの方の避難が想定される

その他の質問

問 防災マップ及び冊子の更新は

答 改訂は、県の調査完了後予定

問 内水対策としての河道掘削計画は

答 国・県に要望していく

東みよし町の公共交通政策は

企画課長 ▼公共交通の空白地帯を解消したい



おがわ つとむ 小川 勉議員

小川

①町として、どのような公共交通網を構築すべきと考えているのか。

②東みよし町の公共交通関連の財政支出のうち、県からの補助金等は除いて、どのよう

な公共交通網を構築すべきと考えているのか。

企画課長

①民間バス、町営バスの幹線系統は現状を維持し、高齢者移送サービ



高齢者移送サービスバス

吉野川オアシス(株)の経営方針は

町長 ▼無駄な支出についてはしっかりと関わる

小川

①一般利用者向けの充電設備設置、従業員向けの充電設備設置及び事業使用車両の電動化を進めている。これらについて、吉野川オアシス(株)の96%以上の株を保有する町の考えを聞きたい。

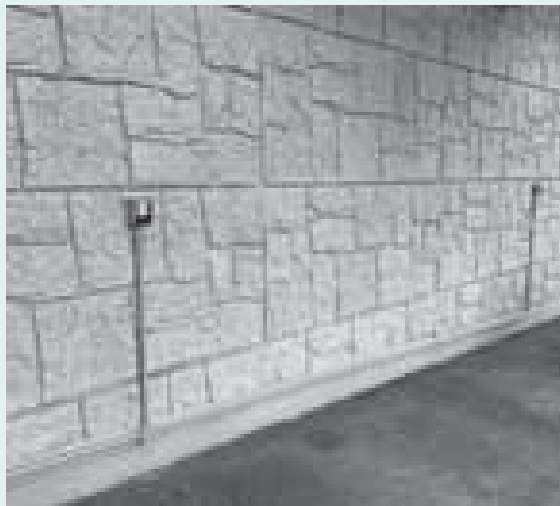
②昨年度の赤字は1億1209万円、今年も毎月600万円程の赤字を出し続けている。金融機関からの融資、国からの貸付け、県の融資、さらには町からの補助を受けなければ事業が続けられない吉野川オアシス(株)を、町長はどのように考えているか。

産業課長

①会社の財務状況を考慮しながら、進めていくことが重要であると考えており、行き過ぎた設備投資にならないよう関与していきたい。

町長

②社長の五十畑氏が進めているエシカル、カーボンニュートラル、グリーン社会の実現に向けた取り組みについては、一応の評価はしたいと考えている。その中で、無駄な支出については、しっかりと関わっていききたい。



充電設備

小川

財政支出額2200万円にこだわることなく、町民から喜ばれ利用される公共交通網を構築していただきたい。

②令和2年度の公共交通関連の支出額は、全体で2948万7千円を支出しており、そのうち町の純粋な財政支出額は、201万3千円である。

吉野川オアシス(株)に経営介入を

町長 ▼ 指示をするに値する案件ではない



かわはら すすむ 川原 進 議員

川原進

①オアシスの社長の車の充電はいつから始め、充電料金の納入については、最初の納入の日付から順次に何日ごと、幾らずつ納入されているのか。

②充電設備の金額及び発注先については、株主の指示を受けているのか。

③経営内容については立

ち入ることができないと言われたが、町長であればできるのではないか。

産業課長

①充電を開始されたのは、令和3年1月からである。電気代の支払いについても、同年1月からである。②納入伝票の日付等については、会社

町長

③地方自治法第24

の経理内容なので、町からの答えは差し控える。

4条の2の第10項、第11項に普通地方公共団体の長、または委員会は、指定管理者の管理する公の施設の管理の適正を期するため、指定管理者に対し、当該管理の業務または経理の状況に関し、報告を求め、実施について調査し、または必要な指示をすることができるとなっている。経営上の問題はあり、別に特段このことは指示するに値する案件とは考えていない。



整備された充電器

NPO法人の設立はできないか

企画課長 ▶ 民間から主体的に組織されるもの

横関

今後、少子高齢化が進み、町の人手不足は否めない状況になっている。町のサービスの低下、支援体制への低下がいずれ訪れるのではないか。

NPO法人は、活動を継続しやすいメリットがある。単なるボランティア団体として活動するよりも、NPO法人として活動するほうが、同じ内容であっても活動を継続しやすく、法人化により人材の雇用が可能となるからである。

こういった観点から、町の未来の支援、サービスの向上、人材確保に向けNPO法人を立ち上げ、未来に備えるべきではないか。

企画課長

NPO法人は、あくまで住民、地域、民間から主体的に組織されるものと考えている。



NPO法人を立ち上げては

行政と新しい公共サービスを實現したいというNPO法人の設立に向けた動きがあった際には、町としても地域を共に支えるパートナーとして理解と研究を深め、県と連携しながら可能な限り支援したい。



よこせき 横関 道恵 議員

オアシスの存在意義について問う

産業課長 ▶ 組織の見直しをしている



いぞえ しんいち
井添 伸一議員

井添

オアシスの存在意義について、観光拠点として機能しているのか、地元雇用促進として成り立っているのか、産業課の一部をオアシスの2階に窓口として置くのどうか。今年のオアシスの本体の商品の売上げなど幾らなのか。地元雇用を最優先にし、地元の商品を一番に考えてほしい。岐路に立つオアシスの再建計画は目標不透明だとささやか

れている。

産業課長

企業診断を受けガバナンス強化や組織体制の見直しをしている。全社員23名中、地元雇用者はアルバイトを含め15名。オアシスの2階にサテライトオフィスとコワーキングスペースの整備をし、開設を進めている。

近隣の道の駅に観光案内係を設置している事例もあり、調査し参考にしている。本年上半期の経常利益は、マイナス3144万。売上げは物販2108万、飲食743万、公衆浴場1343万円である。



改修が進む2階西側

町有地の今後の利用方法は

総務課長 ▼ 事業の進展に合わせて活用を検討

井添

三好地区の保育所跡、旧給食センターの利用方法を考えているのか。三加茂地区の中学校跡地など、20年放置している土地を若者住宅などに利用することはできないか。給食センターは予定では、産業課が6次産業化の振興に利用する予定だったと聞く。一日も早く解決を進めた方が町の発展のためになるのではない

総務課長

旧三好保育所跡は、集会所、放課後等デイサービス、みよしエナジー株式会社に出している。旧給食センターは、防災用品の備蓄庫、簡易テントなどの防災用品を保管している。

トや会議、各種健診、ワクチン接種時に臨時の駐車場として使用した。庁舎を三加茂庁舎に統合する場合、職員駐車場などに利用する必要があり現状維持で管理したい。事業の進展に合わせて活用を検討する。空き家の利活用による若者定住への波及に期待していきたい。

旧三加茂中学校跡地は、運動広場、イベント



防災用品備蓄庫として使われている旧給食センター

PFIモニタリングの実施時期は

環境課長 ▼ 令和5年度より実施で準備中



はせがわよしまさ
長谷川吉正議員

長谷川 本町で市町村管理型PFI浄化槽事業が始まり2年目になるが、先駆けて実施している三好市では民間委員5人が参加する浄化槽PFIモニタリ

ング委員会を設置している。事業の進捗状況などについて、民間の目で見えて結果を市長に報告し公表している。本町でも実施する考えは。

環境課長

浄化槽市町村整備推進事業におけるモニタリ

ングの実施については、現在、導入に向けて検討を始めている。本年10月に三好市環境課を訪問し、モニタリングの導入過程や委員会での審査結果、問題点などのヒアリングを行った。

令和4年度から、モニタリングの導入に向けた条例整備やモニタリング委員会の設立準備などを始め、令和5年度から浄化槽市町村整備推進事業のモニタリングが実施できるとの準備を進めている。



PFI合併処理浄化槽のモニタリングを

合併浄化槽法定検査の実施率は

環境課長 ▶ 令和2年度は61.2%



長谷川

徳島県環境技術センターが実施している合併浄化槽の法定検査の実施率はどのくらいか。また、公共下水道事業の加入世帯数は何世帯なのか。

環境課長

本町の法定検査（11条検査）

の実施率は、平成28年度、58.7%、平成29年、60.7%、平成30年度、62.0%、令和元年度、60.6%、令和2年度、61.2%という状況となっている。ここ5年間で僅かに上昇している結果となっている。

令和2年度末現在の公共下水道事業の使用世帯数が866世帯。

長谷川

公共下水道事業では、毎年、

町長

公共下水道、PFI合併浄化槽、個人の合併浄化槽の各利用者に不平等感がないような方法を検討課題としたい。

町の持ち出しが3千万円となっていて、1世帯に毎年3万円以上の補助をしていることになる。合併浄化槽の法定検査料5千円を補助する考えは。



合併浄化槽の点検

その他の質問

問 会計年度任用職員の人数は

答 フルタイムは39名、パートタイムが55名、合計94名



かわはら かついち
川原 勝市議員

オアシスの危険遊具の撤去等は

産業課長 ▶ 代替遊具の設置と合わせて



大型遊具の更新

川原勝

老朽化等により、危険性が高いとして、使用禁止等の措置が講じられている遊具。

半年以上も放置したまま、子ども達から遊び場を奪うだけでなく周囲の景観等にも影響があると考えるが、撤去等はいつの頃の予定か。

産業課長

今年の6月にオアシスの公園をはじめ、他の公園等の遊具の安全点検を行った結果、12基の遊具から危険性の高

い異常が発見され、使用禁止の措置を講じている。オアシス以外の遊具は、すでに撤去に向け作業を進めている。

オアシスの大型遊具の撤去には、高額な費用が必要であり、代替遊具の設置工事と合わせて、過疎対策事業債を活用した整備を考えており、本議会に追加議案として、予算案を提出している。起債承認がされ次第、作業を進めたいと考えているが遊具の調達等に時間を要し、次年度に繰越される可能性もある。



オアシスの遊具

公園から水辺への散策路の整備は

産業課長 ▼ 最重要課題として検討する

川原勝

オアシスの危険な大型遊具の撤去と代替遊具の設置の際に、公園全体のスペースの有効的な活用は検討できないか。また、吉野川（水辺）までの散策路（スロープ）の整備をはじめ、ベンチ等の増設や花壇等の整備はできないか。

産業課長

遊具の配置等、スペースの有効的な活用に関しては、利用年齢等も考慮して検討したい。また、子どもや高齢者等の憩いの場として、ベンチの充実や、景観を考慮した花壇の配置等のリニューアルも検討したい。吉野川の水



吉野川への遊歩道



対岸から見たオアシスの川辺

辺までの散策路（スロープ）や河川空間の活用等に関しては、国土交通省の所管区域であり、子どもや高齢者等が親しみやすい水辺づくりを目指し、最重要課題として国土交通省との協議や研究を行いたい。安全対策やごみ等の環境啓発、のり面を利用した景観づくりも広く意見を求め検討したい。

マイナンバーカードの普及率は

住民課長 ▼東みよし町は32・8%



なかがわ ゆうじ 議員
中川 祐司

中川

マイナンバーカードは、本人の申請により交付され、個人番号を証明する書類や本人確認の際の公的な本人確認書類として利用でき、また、様々な行政サービスを受けることができるようになる「Cカード」だ。

国内のマイナンバーカードの普及率、徳島県内の普及率、東みよし町の



マイナンバーカード見本(表)

の普及率はどのくらいなのか。また、役場の職員の取得率はどのくらいか。

住民課長

令和3年11月1日現在、全国自治体の平均が39・1%、県内自治体の平均が38・4%、東みよし町は32・8%。役場職員の取得率については、本年9月末日時点での会計年度任用職員を含む取得率は36・0%である。

中川

これからの普及については、

の取り組みは、

住民課長

今までに、町ホームページや住民課窓口でのチラシやパンフレット配布に

よる情報提供、申請の仕方分からない人へのサポートなどを行ってきた。また、平日の昼間に役場に来ることが困難な方への対応として、夜間や休日交付窓口の開設などを行ってきた。

今後は、町ホームページや広報、国が作成する啓発資料などを今まで以上に活用し、マイナンバーカード取得による利便性の向上や安全性を周知していく。さらには、マイナンバーカードの申請をサポートし、カード申請者の負担を軽減する手段として、無料の写真撮影からオンライン申請までワンストップで行えるタブレット端末の導入などを現在検討している。

動議を否決!!

吉野川オアシス(株)社長の充電問題に関する動議



川原進議員から動議の提出

12月17日に開催された第4回東みよし町議会閉会日に、川原 進議員と動議提出の賛成者の井添伸一議員から「吉野川オアシス(株)社長の充電問題に関する動議」が提出されました。この動議を採択し、議事日程に追加するかどうか、榎山議長を除く13人の議員で採決した結果、賛成4人、反対9人で否決されました。

動議とは、一般的に会議の進行中に議員から、口頭又は文書で発議され、所定の賛成者があれば成立し、会議で日程追加が了承されれば議題となり、議決されるものです。形式的に見て動議は、「案を備えているもの」と「案を備えていないもの」に分けられます。「案を備えているもの」は、議案の修正案の動議や懲罰の動議のように文書によって行われるもので、「案を備えていないもの」は、

- ①会議の開閉に関するもの
 - ②議事に関するもの
 - ③委員会におけるもの
 - ④選挙に関するもの
 - ⑤懲罰に関するもの
- など口頭で行われるものです。(議員必携参照)今回提出された動議は、前もって文書で提出されましたが、内容は一般質問の延長上にあり、上記の条件に当てはまらないので動議として提出するべきものでありませんでした。

採決後に榎山議長から「議員の資質を欠く」との発言がありましたが、このことについては、議員全員に「動議を提出する際には、十分な知識を習得して適切に活用せよ」と訓示されたものです。いたづらに濫用されると、議事を混乱させることになります。



動議の採決



文書で提出された動議

庁舎統合計画にかかる

監査請求を棄却!

住民監査請求についての審査結果

12月7日の議会開会日に於いて、代表監査委員の川原和行氏から、8月30日に提出されていた住民監査請求について、公表した監査結果の概要について報告がありました。



報告をする

川原和行代表監査委員

監査結果概要

請求人からの請求要旨は「庁舎統合計画は何らの必要性がなく、町民の賛同を得られていない無駄な公金の支出であるので分館等の建設の差し止めを求める」とした内容であり、監査対象事項を①「**庁舎の統合を計画・立案した行政の判断は、違法・不当であるか否か**」②「**分館の建設計画は、違法・不当であるか否か**」③「**庁舎統合事業への資金投入は、違法・不当であり、中止すべきか否か**」とし、監査対象課の「総務課」からは聞き取り調査を行い、また請求人からは新たな証拠等の提出の機会とともに、陳述の場を設けて監査を行いました。

①「**庁舎の統合を計画・立案した行政の判断は、違法・不当であるか否か**」についてですが、合併当初から、いずれ庁舎を統合する旨の意見が審議されており、また合併による住民サービスの低下を招かないように旧三好庁舎には総合窓口を配備し、三好庁舎に配置されている各事業課への用件もできる限り本庁舎（旧三加茂庁舎）でも対応ができるようにするなどの行政側の配慮が伺えますが、一方この対応により余分なコストが発生していることは容易に推測されます。

合併から10年を経過したことを契機に業務上の課題等を洗い出した結果、現在の分庁舎方式では、住民サービスや行政効率の低下は否めず、庁舎間の移動等による余分な経費や事故等のリスク、庁舎等の維持管理費の増大、災害対応の連携性・迅速性の不足などさまざまな課題が浮上しており、それらの課題を解決するために行政執行の合理化・効率化を図るべく、庁舎を統合するべきとした行政の判断が不当なものとは言えないと考えます。

②「**分館の建設計画は、違法・不当であるか否か**」についてですが、分館の建設計画については、議会における庁舎統合特別委員会や庁舎統合建設等特別委員会といった全議員で構成された委員会での審議で、町民への負担を最小限に抑えることを念頭に、三加茂庁舎を利用した分館建設の計画が採択されており、違法・不当なものとは言えないと判断しました。

③「**庁舎統合事業への資金投入は、違法・不当であり、中止すべきか否か**」については、請求人の指摘の通り、今後巨額の資金投入を要する事業が、近未来において発生することを行政側も想定しており、そうした事業に対応するためにも、今回の庁舎統合計画により、庁舎問題を解決しておくことが有益で先決との考えと思われます。

今回の庁舎統合計画においては、本事業の財源として合併特例債の活用を検討しており、適用期限である令和7年度末までの事業完了に向けて早急に推進する必要があります。

このまま分庁舎方式で非効率な行政運営を継続した場合の余分な経費が、年間2500万円との試算が報告されており、計画で予定している合併特例債を活用した起債額8億5千万円の町費負担での返済額2億5500万円（30%）は、前述の余分な経費として試算された額10年分ではほぼ償還可能な額であることから、本件は不急不要な事業への資金投入とは言えないと考えます。

また、庁舎統合問題を現状のまま先送りした場合、現在使用の二つの庁舎の耐用年数からしても、数年後の庁舎の問題解決には、もっと巨額な資金の投入が必要になってくると思われそうですが、本町は有益な起債財源となる過疎債の対象区域からも除外となったため、数年後に庁舎問題を解決する際には、基金の大幅な取り崩しなど、自己資金の投入額も巨額な額に増加することは容易に想像でき、町民にとって今後の負担増を余儀なくする可能性が大です。よって合併特例債を活用した今回の庁舎統合計画は、将来にわたる町財政の健全化においても有益な事業と思われ、町民の負担を最小限に抑えられる計画と思われそうです。

そして、旧三好庁舎には、現在の総合窓口、もしくは支所としての機能を強化し存続させることにより、住民サービスを低下させない計画であるので、違法・不当な計画とは言えないと結論付けました。

以上の理由により、本請求を棄却いたしました。

議会を傍聴
しませんか

皆さんが選んだ代表が
議場でどんな発言をして
いるのか自分の目と耳で
お確かめください。

どうぞお気軽にお越し
ください。

定例会は年4回(3月・
6月・9月・12月)に開か
れます。

日程・手続き等は議会
事務局へお問い合わせく
ださい。

TEL 82-6317



次の定例会は
2月下旬です。

テレビ放送を予定しています。

表紙の写真



昨年中止となった徳島駅伝。1日目の北岸コース12区(三野郵便局前から昼間・大谷商事前まで)を再出発ゴールの大谷商事の手前を力走する中本裕己選手(みよし広域連合池田消防署)を「がんばれ!!三好郡選手団」の横断幕と旗を振って応援するのは、昼間児童クラブの児童たちです。

まちの



●シリーズ55●

やってきた

東みよし町に外国人

令和3年9月にアメリカ合衆国カリフォルニア州から東みよし町にやってきた、笑顔が素敵なたチャーリーさんです。



グラント・チャーリー・ヘイデンさん(23歳)

問

東みよし町に来たきっかけは?

ALT(外国語指導助手)に応募する際、東京のような大都市ではなく、小さな町で働きたいと希望し、東みよし町に来ることになりました。

問

東みよし町の印象はどうですか?

町はとても綺麗で、気候も故郷と似ているので大好きです。特に、町内に大きな川が流れているのが好きです。出会った皆さんが親切に対応してくださり、とても感謝しています。

問

町での生活はどうですか?

自宅近所や町内を自転車をよく巡っています。この町での生活はとても楽しいです。日本語で話すのは少し難しいですが、毎日一生懸命勉強しています。

問

町に望むことはありますか?

私の唯一のリクエストは、町で私を見かけたら、こんにちはと言ってください!日本語はあまり上手ではありませんが、色々な方と話をし、もっと私を知ってもらいたいです!

編集後記

▼新型コロナウイルスが収束したかと思いきや、年を明けてからコロナ(オミクロン株)が猛威をふるい始めていますが、成人式、徳島駅伝、出初式は開催できました。

▼この4年間は、吉野川オアシスの再建と庁舎統合の問題が大きな課題でした。昨年は、コロナ対策での10万円給付やその他の給付事業、ワクチン接種で担当課は忙しい1年だったと思います。

▼さらに、吉野川ハイウェイオアシスでは、コロナ禍で再建の見通しが見えない状況であり、庁舎統合では、住民投票を求める手続きもされています。

▼4月5日告示、10日投票で、町長・町議会議員選挙がありますが、今回の選挙から、選挙カー、ポスターなどの助成がされるようになります。

▼今議会だよりが任期最後の発行となり、次回は、改選後の6月発行となります。

広報特別委員会 委員長 長谷川 吉正